

平成25年度 市政懇談会（北有馬・南有馬地区）会議録

- 期 日：5月29日（水）
- 場 所：原城文化センター
- 出席者数：36人

質疑内容	回答	回答者
<p>限界集落で石垣が崩れてしまっている。高さが6~7mある。面積が狭いから予算が付けられないというのはおかしいと思う。税金でやっていただかないと困る。</p>	<p>地滑り事業は県の予算で工事を行います。現地に県が来ているということで、もう一度、県に確認してご連絡いたします。【後日対応】</p> <p>【後日対応】 5/31 質疑者と現地において立合を行いました。この現場は昨年の災害時も現地調査を実施しており、農地の面積が狭いため災害には該当しない旨を説明し、質疑者に納得していただきました。</p>	<p>農林水産部長</p>
<p>防災の件について、葉山川に草が生い茂って堆積物がたまっているので、なにか手を打っていただけないか。</p>	<p>葉山川は2級河川だと思います。今年も10月頃、緊急雇用でやりたいと思っています。とりあえず現地確認して県とも協議しながらやりたいと思います。</p> <p>【後日対応】 質疑者と現地を確認し、河川管理者の振興局に内容を報告しました。</p>	<p>建設部長</p>
<p>①市町村合併後、文化センターをはじめ施設が有効に活用されているように感じている。交流人口も増えた。通行も頻繁になった。そういう状況の中で、色んなイベント、スポーツの競技大会、修学旅行生の受け入れでグラウンドに人が来る。バスなどの大型車で来るが道路が狭い。自治会でもなんとかならないかという声がある。例えば歩道付きの道路をつくるなど、西望公園方面の農道への連絡道路も狭いし、道路整備の検討をお願いします。</p> <p>②島鉄廃線からかなり経過した。8カ町の市街地を走っている部分について島鉄はどうしようとしているか？市はどのような考えをお持ちなのか？これを解決していくと市街地の発展が得られるのではないか。</p>	<p>①有商跡、原城跡等含めて全体的な施設の位置関係、アクセス道路を考えていかなければなりません。今の段階でどうこうではなく、市全体で体系的に考えていきたいと思えます。</p> <p>②島鉄跡地については、数々な案があるが、検討会を何回も開いて、例えば、サイクリング道、遊歩道、バス専用道路も検討しています。最近ではDMVの導入の意見もいただいています。いずれにしても橋の数、踏切の改修などで、バスが通れるようにするために78億円くらいかかります。そして鉄道軌道は1メートル30センチに対して、バスになると5メートルの幅が必要。現在検討している。まずは島鉄がどうするのか、土地が抵当に入っていて売ることができなくなっています。抵当に入っているから島鉄と株主と債権者で話がかからないと動けません。ただし、世界遺産の登録に向けて、北有馬駅ー原城駅間だけでも世界遺産の道路として遊歩道と自転車が動ける経路の発想はあるが、まずは土地の問題を解決したい。</p> <p>現在、島鉄と島原市、雲仙市を含めて協議をやっていきます。島鉄は我々にとっても頭痛のタネ。なるべく前向きに市がやれるような分割案でも模索しながらやっていきたい。大事な場所を通っているし、維持するだけの資金を島鉄が準備できない。早めに解決したいと常に思っています。それから、先ほどの道路と一緒に周辺の再開発を考えていきたいし、特に道路が重要だと思っています。</p>	<p>①建設部長 ②高田副市長</p>

<p>4/17の自治会長会議で、防災と安全対策として、各自治会で危険箇所があってガードレール等をつけてもらいたい場合は要望書を上げて欲しいとのことだった。築山には4地区あって関連する事案が出てきた。私の家の前は通学路になっている。2年前、建設部長に大江入口の拡張をと相談に行ったことがある。その時は管轄が振興局だと、農林だとか、文化庁だとかたらい回しにあった。その後、振興局とか口之津警察とかと協議して、去年、大江の入口はいくらか出入りしやすくなった。今回の4月の会議時、距離の制限や文化庁の制約があると聞いた。世界遺産登録を目指しているのに不思議です。</p> <p>この前もコレジヨホールのシンポジウムで原城に来てもらうには交通のアクセスが一番の問題だと言っていた。私達は原城のガイドをしているが、今は1時間でガイドを終わっているが、真砂に泊めてお金を落とさせるために2時間コース、3時間コースを計画して考えている。そうすると道の問題がある。2年前にも舗装のお願いを言ったが、たらいまわしにあった。拡張すると大型バスも離合できる。道路拡張のお願いと築山自治会の道路への対応を提案します。</p> <p>交通アクセスとして原城を一周回った方が眺めがいい。原城のイメージが湧く。今は原城に来て何もなかったとなる。4時間のガイドも可能になるし、車でも回れるようになる。早めに手を打ってほしい。世界遺産に向けてどういう整備をするのかわからない。私達4築山では自分たちで看板も作った。案内板がほしい。</p>	<p>①おっしゃる通り、たらいまわしはいけない。いずれにしても世界遺産を目指しているので、全体的な構想の中でどうすべきか検討しています。</p> <p>②その道路は昭和50年前後の第2次構造改善事業で作られた農道で生産者団体が事業をされました。そこに市として手を加えるのは農林とよく相談しないといけないと思います。文化財についても原城の史跡地に入っていて現状の変更には国に申請を挙げて今の状態になっていると思います。農林関係の問題もあるが、例えば拡幅等を行う場合も文化庁の認可をとって行わなければならないというように手続きは面倒くさいが、手順を踏まなければならないと考えております。</p> <p>③世界遺産の関連で、市役所の中でも色々な部署にまたがっている状況になっています。今年度、周辺整備についてトータルで車を通すのか、歩行中心にするのかを含めて検討します。例えば、原城駅を駐車場にして、南有馬を歩いていただくことで南有馬の商店街を活性化できないかというプランがあります。また、滞在時間を延ばす道路整備、案内板を年度内にやるように予算をつけています。今まであちこちの部署でやっていたものを企画振興部に集約して、産業と観光と学術の部分を一括して案をつくります。その時にはみなさんにお示しして、ご意見をお伺いしながらやっていきたいです。</p>	<p>①市長 ②教育次長 ③高田副市長</p>
<p>世界遺産に対して文化庁はどういう見解を持っているのか。以前は文化庁は現状維持を前提としていたと思うが、道路拡張は許可しないと思う。いかがでしょうか。</p>	<p>文化庁からは原城、日野江城跡については、過去にあった歴史を後世の人に見てもらうためにコアゾーンである城跡に手を加えることについては、証拠を発掘しながら何があったか世界の人に見てもらえるような整備計画をし出しなさいということで今、教育委員会の方でやっています。ただし、道路を新しく通すことは保存のために許されていないので、車よりできるだけ歩行をと考えています。例えば、南島原市と姉妹都市になりたいと言っているポルトガルのエボラという町は入口までバスで行って、街中は散策します。歩いて行ったらショッピングできるが、車で行く通り過ぎてしまいます。まったく触ってはいけないというわけではなくて、コアゾーン以外には手を付けて環境、景観に配慮してやっていかなければなりません。</p>	<p>高田副市長</p>

<p>①世界遺産のメリットとデメリットを説明してください。青森の白神山地は2004年世界遺産登録後、最初は観光客が来たが、後はガラガラだと聞く。色んなものをつくったが、何もならないと。飛騨高山は規制が厳しくて家も建てられない。駐車場もつけれないと。原城も同じようになるんじゃないか。</p> <p>②市内の道路整備よりも南有馬 - 愛野間の道路をどうするのか。加津佐 - 南串山間は雨が降ったら止まってしまう。島原方面は高規格道路をつくっている。深江 - 島原間もすぐになった。雇用創出とか言われるが道がないとだめ。じゃがいも、トマト、イチゴが採れているので早く道を整備してほしい。この間、南島原市のトマトを安倍首相がロシアに持って行ったという。有馬商跡の活用についてもいいんですが、人口推計によれば、10年後は人口は4万人をきる。20年後は3万人をきる。人口が減っていくのにそういった施設があるのか。できれば有家のグラウンドの近くに一緒にするとか検討していただけないか。</p> <p>③PM2.5について、県内で5箇所しか観測していないようだが、県知事が増やすと言っていた。ぜひ南島原でも観測してほしい。</p> <p>④ワカメの養殖の利益は？良いなら市として進めていってほしい。</p>	<p>①世界遺産は世界に1,000近くあります。文化、自然、文化と自然の複合資産が登録されており、日本にも16箇所あります。そういう遺産は人類が長い間築いてきた宝です。だから万全の態勢で後世に伝えていくというのが大きな役割です。普遍的な価値を持つように整備を進めていきます。メリットは、遺産を守って後世に伝えていく、世界に名前が知れ渡って多くの方々に来ていただく、地域の振興にも繋がる点。デメリットは、急激に人が来ることで、地域の方々の生活に影響が出る点です。</p> <p>②旧町時代から毎年お願いしてきたが、高規格道路の整備が進んできませんでした。その反面、県北は道路整備が進みました。これは知事が県北出身だったことも大いに関係があるようです。今度の知事は南島原市出身。国会議員も市から2人誕生しました。そこら辺のパイプをつないでもらってお願いをしています。特に南島原は奥まった個所があるので、全線についてお願いして期成会もつくってお願いしている。ただ、安倍政権が経済の活性化ということで、やられているが、国も借金を抱えながらやっています。市と県も同じような流れで来るから厳しい面もあるが、がんばってやっています。</p> <p>有商跡地の件は人口が減るからといって、事業を縮小するより、なるだけ減らないような施策をとりたいと考えています。有商跡地の活用についても色んな検討をした結果、文化スポーツ施設に、という結論になりました。市内には色んな施設があるが、5万人を集められる施設がありません。だから全国レベルのイベントも開けないということもありますので、5万人に見合った施設が必要なのではということで、有商跡地を利用したいと検討しているところです。</p> <p>③PM2.5については現状では県が抱えている大気測定局県内11か所のうち3箇所で測定しています。先般、11箇所全部で測定できるように県との協議の場で市長からお願いされた。そういうことを受けて知事が測定局をつくると言われました。島原半島内では小浜と島原で測定可能となります。現在最も近いのが諫早でしたのでより近い場所での情報が提供できるようになります。</p> <p>④ワカメの養殖については、地元のもの比べると長さは2m伸び、色も濃くて、肉質も良好。今まで生で出していたが、加工せずに出せるようになりました。好評で単価もいいと聞いています。</p>	<p>①教育次長</p> <p>②市長</p> <p>③市民生活部長</p> <p>④農林水産部長</p>
--	---	---

<p>①平成21年に「原城・天草四郎抜け穴の真実・400年の謎が判明」というタイトルで全国放送があり、大きな反響があった。ディレクターが続きは市役所と相談しながらと言っていたが、ばたっと途切れた。おそらく文化庁から注意されたものと思われるが、どうかこれを観光に活かさないか。</p> <p>②水道問題、前回の市長選の際には私も市職員で北有馬の試掘の件で大変、悩んだ。しかし、藤原市政になって、水源がもう1つ見つかり、私はほっとしております。しかし、地元は喜んでいない。こういった経緯だったか地元の人に説明する義務があるので、お願いします。</p> <p>③水道料金について、おそらく公民館の水道料金は上がる。今までは使った分だけだったが、5年後は1万円を超える。口之津、加津佐は安くなる。深江、布津は高くなる、北有馬、西有家はとんとん。ただし、公民館の水道料金は上がる。5トン未満の料金を細分化できないか。</p>	<p>①国指定の文化財なので、県、国の意向を聞かないとけない部分もあります。原城跡は23年から10年間かけて整備していきます（2億5千万円）。今、やっているのは海側の浸食対策のための整備で、世界遺産の問題もあります。</p> <p>②水道のボーリングの件については、当時、論所原からの取水で北有馬町の皆さんにはご迷惑をおかけしてました。その後、衛生センターのところ捨てていた800トンの水を加津佐に運ぼうと現在、工事をしているところです。そのことについて説明をしたのかについては私が把握しておりませんので帰って確認をしたい。</p> <p>②加津佐への拡張工事について平成21年から工事しているもので色んなトラブルがありました。平成22年の10月ごろ、地区住民の反発で取水計画中止、環境調査の結果も厳しかった。そこで、代替水源として衛生センターの横になりました。現在、加津佐地区の使用水量に対する供給のバランスはとれています。これからも色んな角度から取り組んでいかなければならないと思います。</p> <p>③公民館の水道料金については、合併前旧北有馬町は使用料だけだったが、ほか7町は基本料と使用料が徴収されてきました。平成23年の市内の水道料金統一の折に他の7町と同じように徴収することになりました。このことは、平成22年度の各町の自治会長会時に説明し、チラシを配りました。公民館の料金の細分化については、基本料金というのは水道施設の維持、検針する方の基本的な経費に掛かる部分で、超過料金については配水量増加に伴う薬品、電気代の経費に掛かる部分です。確かに公民館の使用料は少ないです。そういった意見もあるということで拝聴させていただきます。</p>	<p>①教育次長 ②③水道部長 ②永門副市長</p>
<p>下水道工事の説明会が浦田地区であったが、工事をやるのかやらないのか教えてください。下水を垂れ流すと海が汚れる。タコが採れない。やらないのであれば合併浄化槽にできないのか。</p>	<p>昨年の7～9月にかけて、今後、南有馬町で下水が計画されている浦田、北岡、吉川地区にアンケートを実施させていただきました。目的は既に下水道の布設が終わった地区の加入率が伸びず、多大な初期投資がかかるので、人口も少なくなる中で今後の下水の布設についてアンケートさせていただいたものです。この結果をもう1度、報告会で報告したいということで、名会長と自治会長に集まっていたらアンケートの結果を報告しました。今後の報告会の周り方についても相談しました。3地区とも名単位で報告をすることとなりました。日程については各自治会長からお知らせがあるかと思いますが、7月15～16が北岡、吉川地区。7月26が浦田地区となっています。その折にご質問していただければと思います。</p>	<p>水道部長</p>
<p>防災の面、市長は広域圏の管理者になられて、西有家に本庁も作られて大いに利用されておりますが、南有馬にある有馬分署は、人員が少ないときには1日3名体制。救急で出動する際は3名がいなくなる。そういった際に火事などが起こった場合、西有家や口之津から駆け付けるということですが、消防署員と消防団員は違う。南有馬にせめて5名必要です。いざという時のために有馬分署を5名体制にしてほしい。</p>	<p>内容については西有家の消防署ができたときから心配されていたことです。持ち帰って検討をします。これまでのいきさつは聞いております。しかし、今の話を聞くと地区の消防団員のみなさまに大変、負担をかけていると思いました。私も管理者ではあるが詳しくはないので、持ち帰って検討したいです。</p>	<p>市長</p>